

100 問集編集余話

2 フォルトとレットの種類

フォルトの種類

次の37種ある。 (注) S = シャトル R = ラケット

サービス関係

第13条第1項、第9条第1項

- 1 不当に遅らせた [9-1-(1)]
- 2 境界線に触れた [-(2)]
- 3 両足の一部がコート面に接していなかった [-(3)]
- 4 サーバーが最初にSの台を打たなかった [-(4)]
(羽根打ちサーブ)
- 5 S全体がサーバーのウェストより下でなかった [-(5)]
- 6 Rのヘッド及びシャフトが下向きでなかった [-(6)]
- 7 Rの前方への動きが継続しなかった [-(7)]
- 8 SがサーバーのRから上向きに飛行し、ネットの上を通り、レシーバーのサービスコートに落ちなかった [-(8)]
- 9 Sの打ちそこない(空振りほか) [-(9)]
- 10 サーバーのパートナーがレシーバーの視界をさえぎった [9-5]
- 11 Sがネットの上に乗ったとき 13-2-(1)
- 12 Sがネットを越えた後、ネットにひっかかったとき 13-2-(2)
- 13 レシーバーのパートナーがシャトルを打った 13-2-(3)

一般共通

- 1 Sがコートの境界線の外に落ちた 13-3-(1)
- 2 Sがネットを通りぬけるか、下を通った - (2)
- 3 Sがネットの上を越えなかった - (3)
- 4 Sが天井または壁に触れた - (4)
- 5 Sがプレーヤーの身体または着衣に触れた - (5)
- 6 Sがコート外の物または人に触れた - (6)
- 7 SがR上に捕らえられ保持されて、振り投げられた - (7)
- 8 Sが同じプレーヤーによって2回連続して打たれた - (8)
- 9 Sがパートナー同士で連続して打たれた - (9)
- 10 Sがラケットに触れて、相手コートに向かって飛ばなかった - (10)
- 11 R、身体、着衣がネットや支持物に触れた 13-4-(1)
- 12 ネットの上から相手コートを侵した - (2)
- 13 RとSとの最初の接触点が打者側でなかった - (2)
- 14 ネットの下から相手コートを侵して、相手を妨害したり、注意をそらしたりした - (3)
- 15 相手の正当なストロークを妨げた - (4)
- 16 故意に相手の注意をそらした - (5)
- 17 インタ - バルの違反 16-7-(2)

その他

- 第16条の違反行為がはなはだしい、繰り返す、継続してやめないとき、例えば 13-5
- 1 プレーを継続しなかった [16-1]
 - 2 体力や息切れを回復するための遅延行為 [16-4]
 - 3 主審の許可なしにコートを離れた [5-(2)]
 - 4 プレーを故意に遅延、中断した [16-6-(1)]
 - 5 シャトルのスピードや飛び方を故意に変えた [-(2)]
 - 6 見苦しい服装、下品で無礼な態度、言動 [-(3)]
 - 7 不品行または不快な行動 [-(4)]
- ただし、1回めは警告 2回めはフォルト [16-7-(1)]
また、なお続けた場合、失格させることができる [-(2)]

レットの種類

次の7種ある。 (注) S = シャトル R = ラケット

競技規則第14条関係

- 1 レシーバーの態勢が整う前にサーバーがサーブした [14-1-(1)]
- 2 サービスのときレシーバーとサーバーの両方がフォルトをした [-(2)]
- 3 Sがネットの上に乗った、またはネットを越えた後、ネットに [-(3)]

ひっかかったとき(ただし、サービスのときは除く)

- 4 Sが分解してSの台が他の部分と完全に分離したとき [- (4)]
- 5 コーチによりプレーが中断されたり、相対するプレーヤーが
注意をそらされたりしたとき [- (5)]
- 6 線審が判定できなくて、主審も判定できないとき [- (6)]
- 7 不測な事態や突発的な事態がおこったとき [- (7)]

不測な事態や突発的な事態とは

- インプレーで、1 隣のコートからSが飛び込んできてプレーの妨げになったとき
- 2 地震、停電、雨漏りが起きたとき

【完】文責・龍井昇治